

# 令和4年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	12 人権・多様性の尊重

## ☆ 目指す姿

誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を発揮できる社会が実現している。



## ■ 施策の主な取り組み

### ① 人権啓発の推進と学習機会の提供

人権に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の人権への理解や認識の向上を図ります。

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人権啓発事業	香芝市人権教育推進協議会や各種団体と連携し、広報活動やセミナー等を開催し、市民へ人権に関する正しい知識や情報を提供します。	—

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市民集会参加者数	人	「人権を考える香芝市民集会」の参加者数	150	180	220	250
人権啓発事業認知度	%	人権に関する市民アンケートで「市が実施する人権啓発事業を知っている」と回答した人数/全回答者数(事業参加者対象)	64	70	80	90

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
150	150	150	150	100.0%	83.3%	市民環境部 市民協働課
56.3	65	65.4	44.1	67.8%	63.0%	市民環境部 市民協働課

### ② 男女共同参画によるまちづくりの推進

男女共同参画に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の男女共同参画意識のさらなる醸成・高揚を図ります。

### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会への理解を深めるため、父子を対象とした体験型の講習会の実施や市民を対象とした学習会等を開催します。また、関係機関と連携し、女性の就労支援に係るセミナーの実施や相談窓口を開設します。多様な視点を政策方針に取り入れるため、市の審議会への女性登用を促します。	●

#### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市職員の管理職に占める女性割合	%	市職員の女性管理職数/市職員の管理職数	29.7	30	30	30
市の審議会への女性委員登用率	%	審議会等における女性委員数/審議会等における委員数	26.4	30	30	30

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
30.4	30	31.4	31.4	104.7%	104.7%	市民環境部 市民協働課
26.6	30	23.5	23.5	78.3%	78.3%	市民環境部 市民協働課

## ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	人権啓発事業						【実績】 ・くらしを考える講座を6回(6月・7月・8月・10月・12月・2月)開催した。参加人数(見込み):220人(市民集会除く) ・市民集会を7月に開催した。参加人数 150人。 【課題】 ・講演会参加者の中でも香芝市が人権啓発事業を行っていることを知らなかった人が約4割いるため、より多くの人に人権啓発事業について知り、参加してもらえるよう、周知方法や講演内容について検討が必要。
②-1	男女共同参画推進事業	【実績】 ・男性いきいきセミナーを2回(4月・11月)開催した。参加人数 53人。 ・女性の就労支援「マザーズセミナー」を2回(9月・3月)開催した。参加人数(見込み):20人。 ・男女共同参画推進委員会を2回(8月・2月)開催した。 【課題】 ・女性の就労支援「マザーズセミナー」の参加人数が少ない。より多くの人に参加してもらえるよう日時や場所、周知方法等検討する。	A	80 75 87	現状維持 現状維持	・共働き家庭が増加する一方で、家事の役割分担などまだまだ性別の固定的概念が残っていたり、多様な生き方を尊重しなければならないことから、現状の方向性で事業を維持していく。	市民環境部 市民協働課



## ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・現行の取組により一定程度の効果が出ており、引き続き人権や多様性を尊重する意識を高める必要があることから、現状の方向性で施策を維持していく。
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	2 事業	拡充	事業	拡大	事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	13 地域コミュニティの醸成・活性化

★ 目指す姿

市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。



■ 施策の主な取り組み

① 自治会活動の支援

円滑な自治振興の実現のため、地域コミュニティの核である自治会の安定的な運営を支援します。また、自治会の協力のもと、地域の安全安心に関わる設備等の設置を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自治会活動支援事業	自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の設備の整備に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、自治会及び自治連合会と連携し、自治会未加入者への加入促進を図るとともに、自治会と各種地域団体の連携を促進し、地域活動の活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
自治会加入率	%	自治会加入世帯数/4月1日時点の世帯数	87.2	88	90	92	85.3	85.3	84.1	84.1	98.6%	95.6%	市民環境部 市民協働課
自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	回	自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	0	1	2	3	0	1	1	1	100.0%	100.0%	市民環境部 市民協働課

② 市民公益活動団体の支援

ボランティアやNPO等の市民公益活動団体の地域での活動を支援することで、地域の活性化を促進します。また、市民公益活動団体が繋がりを、発展できるように、コーディネーターの役割を担います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	市民公益活動団体支援事業	市民公益活動団体の活動に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、活動報告会や市民主体のイベントを実施することで、団体同士のつながりや市民や市内事業者等、あらゆる主体との相互交流の機会を設け、市民活動のさらなる活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
まちづくり提案活動支援事業補助金申請件数	件	まちづくり提案活動支援事業補助金の申請件数	19	25	25	30	9	15	16	16	106.7%	64.0%	市民環境部 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
①-1	自治会活動支援事業					【実績】 ・転入者に自治会加入促進のパンフレットや啓発品を配布した。 ・自治会活動及び自治会が設置する防犯灯・防犯カメラ・放送設備・集会所への補助を行った。 【課題】 ・コロナ禍により、自治会や自治連合会の活動が縮小されたことで、地域活動の活性化が図られていない。自治会活動が継続していけるよう支援が必要。	B	100 80 85
②-1	市民公益活動団体支援事業	【実績】 ・補助金申請は一次募集で12団体14事業、追加募集で2団体2事業の応募があった。 ・スキルアップセミナーを2回開催し、1回目は資金調達、2回目は企画をテーマに行った。 【課題】 ・スキルアップセミナーの参加者が少なく、広報の方法を検討する必要がある。 ・行政提案型の事業について、事業内容の調整を適切に行えるよう市民団体とテーマ担当課に周知していく必要がある。	A	77 85 90	現状維持 現状維持	・まちづくり提案活動支援事業は令和4年4月に団体がより利用しやすいものになるよう要綱改正を行った。さまざまな市民団体が活発に活動することでまちの活性化につながることから、まちづくり提案活動支援事業は今後も継続に努めたい。 ・スキルアップセミナー参加者が伸び悩んでいるので、セミナーの内容等を再度検討する必要がある。		市民環境部 市民協働課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・引き続き、自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の設備の整備に対しての補助金の交付等の支援や、自治会加入率向上の啓発事業を行う。 ・まちづくり提案活動支援事業への応募が増加するよう広報紙、HP、チラシ等による広報を工夫する。
---------	---

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	1 事業	拡充	事業	拡大	事業
B	1 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	14 文化芸術の振興・多文化共生

**☆ 目指す姿**  
 多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。



■ 施策の主な取り組み

① 文化の発信・創造・交流の支援

多くの市民がさまざまな文化に触れ、多様な見識や価値観を養うことのできる機会を創出します。また、市民の自主的・創造的な文化活動を支援し、文化振興につなげます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	文化施設管理・運営事業	指定管理者制度による文化施設の維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、市民の文化活動を促進します。	●
①-2	地域交流センター管理・運営事業	指定管理者制度による地域交流センターの維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、地域での市民交流を活性化します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管	
				R6	R10	R14	(R3)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R3年度比)		目標達成度 (R6年度比)
ふたかみ文化センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	44.2	45	48	50	43.0	44.0	37.1	39.5	89.8%	87.8%	市民環境部 市民協働課
ふたかみ文化センター利用者数	人	ふたかみ文化センターの利用者数	89,790	97,000	105,000	108,000	54,882	60,000	27,175	64,291	107.2%	66.3%	市民環境部 市民協働課
地域交流センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	23.6	25	30	35	23.7	24.0	27.8	27.7	115.4%	110.8%	市民環境部 市民協働課
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの利用者数	48,620	55,000	66,000	77,000	38,845	39,000	25,450	48,451	124.2%	88.1%	市民環境部 市民協働課

② 多文化理解と国際交流の推進

国際理解を通じて、さまざまな文化の在り方や考え、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化・国際交流活動事業	国際交流活動を行っている市民、地域団体、事業者等と連携し、セミナーやイベント等を開催します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管	
				R6	R10	R14	(R3)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R3年度比)		目標達成度 (R6年度比)
国際交流事業実施回数	回	国際交流事業の実施回数	2	3	4	4	3	5	3	6	120.0%	200.0%	市民環境部 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入								
①-1	文化施設管理・運営事業	【実績】 指定管理者による施設の運営、維持管理が適正に行われた。 ・施設の利用率・利用者数ともに目標値を下回ったものの、積極的な自主事業の実施により利用促進が図られた。 【課題】 ・引き続き感染症の拡大状況に応じた施設運営を、指定管理者と連携しながら行っていく必要がある。	A	95 67 90	拡充 拡大	・感染症対策における利用制限措置のため長期の利用目標達成は難しいが、指定管理者と連携し、感染症対策にも留意したうえで、利用者数と稼働率の向上を目指す。 ・ふたかみ文化センターは平成4年4月の開館から30年以上が経過しているため、設備の老朽化によりサービスに影響を及ぼさないよう修繕を行う必要がある。	市民環境部 市民協働課	
①-2	地域交流センター管理・運営事業	【実績】 指定管理者による施設の運営、維持管理が適正に行われた。 ・施設の利用率・利用者数ともに目標値を大きく上回っており、利用促進が図られた。 ・次期指定管理者として、引き続き白鳳台自治会を選定した。 【課題】 ・引き続き感染症の拡大状況に応じた施設運営を、指定管理者と連携しながら行っていく必要がある。	A	95 67 90	拡充 現状維持	・感染症対策における利用制限措置のため長期の利用目標達成は難しいが、指定管理者と連携し、感染症対策にも留意したうえで、利用者数と稼働率の向上を目指す。	市民環境部 市民協働課	
②-1	文化・国際交流活動事業	【実績】 ・CIRを講師として国際交流セミナーを6回開催することができた。内容は子どもと保護者で参加するものや、グローバル香芝と共催したものなど幅広く実施した。 ・CIRが小学校4校で講義を行なったほか、小学校でのスイス料理の給食提供に関わることができた。 【課題】 ・国際交流セミナーは子ども向けの制作が好評であったが、参加人数が限られることが課題。	A	80 77 77	現状維持 現状維持	・市内在住外国人の日本語学習ニーズに応えるため、香芝市まちづくり活動支援補助金の行政提案型事業として、グローバル香芝が行う日本語教室がR4年から開始されたので、事業が継続されるように進めていく。 ・市民の国際理解・国際交流を促進するため、国際交流セミナーを継続して実施する。	市民環境部 市民協働課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	指定管理者と連携し感染症対策にも留意したうえで、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、市民の文化活動や交流を促進する。 ・国際交流員(CIR)等による国際交流セミナーを引き続き実施するとともに、CIRの学校等への訪問を実施することで国際交流の機会を広げることを目指す。
---------	---

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	3 事業	拡充	2 事業	拡大	1 事業
B	0 事業	現状維持	1 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実

★ 目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
中央公民館利用率	%	年間稼働稼働数/年間利用可能稼働数	32.2	35	35	35
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				目標達成度 (R6年率比)	目標達成度 (R6年率比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	実績値 (年度末)			
21	35	18	24	68.6%	68.6%	教育部 生涯学習課	
20,000	30,000	10,625	31,374	104.6%	44.8%	教育部 生涯学習課	

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
社会体育施設利用率	%	年間稼働稼働数/年間利用可能稼働数	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				目標達成度 (R6年率比)	目標達成度 (R6年率比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	実績値 (年度末)			
55	60	55	54	89.8%	105.7%	教育部 生涯学習課	
203,604	247,200	104,009	205,625	83.2%	93.5%	教育部 生涯学習課	

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書サポーター等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館車「ぶつくる号」の巡回等により、利用環境の整備を推進します。	●
③-2	読書普及活動事業	図書館でおはなし会や読み聞かせ会を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
蔵書回転率	回	年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	1.7	1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	-	154,000	159,000	168,000

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				目標達成度 (R6年率比)	目標達成度 (R6年率比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	実績値 (年度末)			
1.8	1.8	0.9	1.7	94.4%	94.4%	教育部 市民図書館	
187,712	189,000	99,948	185,600	98.2%	120.5%	教育部 市民図書館	

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性			担当所管		
			3視点評価 (A/B/C)	成果の方向性	コストの方向性			
①-1	生涯学習機会提供事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民がつくる生涯学習講座:36講座、全44回、計323名参加(2/3時点)。</li> <li>23名の市民が講師となり、講座を実施することができた。</li> <li>美術展覧会:今年度より「アートweeeek」内のイベントとして開催。会場も従来の中央公民館からふたかみ文化センターに移動し、会期を短くするなど大幅な内容変更を行った。結果、計141品の出品、計424名の来場者数と、会期を短縮したものの昨年度を上回る来場者があった。</li> <li>家庭教育学級:10学級中4学級から「社会教育関係団体活動事業補助金」の申請があり執行。</li> <li>社会教育学級:高齢者学級1学級より「社会教育関係団体活動事業補助金」の申請があり執行。</li> <li>社会教育委員:年度3回の会議を対面にて実施。「社会教育関係団体活動事業補助金」の改正等について協議。近畿、県の研修会等についても適宜参加いただいた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭教育学級・社会教育学級の活動が年々縮小されている。今後の抱えている不足が懸念されると共に、時代に即した活動の在り方を検討する必要がある。</li> <li>市民がつくる生涯学習講座について、昨年課題として一括募集による申込の少なさに関しては上半期下半期に分ける事で対応した。しかし、年末年始等の申込の少なさに関しては改善が見られなかった為新たな形での開講・広報の仕方を検討する。</li> <li>美術展については、従来の課題であった出品数・来場者数については改善の兆しを見せたものの、会場の照明・広さの問題等新たな課題が見つかった。また、若者を含む幅広い年代の方に出展してもらえようとする周知策・仕組みづくりの検討が必要である。</li> <li>社会教育関係団体に対する、「社会教育関係団体活動事業補助金」については廃止し、新たに事業に対する補助金制度を制定する。</li> </ul>	B	75	拡大	<p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの方に文化芸術に触れる機会を創出するため、美術展覧会については拡大し実施していく。また社会教育学級への支援については、より多くの市民の方へ生涯学習の機会を提供出来るよう、事業内容を見直し継続して行う。全体の事業としては拡充する方向である。</li> <li>【コストの方向性】</li> <li>事業については拡充するもの、縮小するものがあるが、コストについては、縮小する方向で事業の見直しを行う。</li> </ul>	教育部 生涯学習課	
			A	75	拡大		<p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進員のあり方については事業の実施内容やあり方の改善を行う必要があり、改善策について検討していく。スポーツイベントについては、随時これまでの事業にとらわれず、若者男女がスポーツの機会に触れられるイベント等の実施を検討していく。</li> <li>【コストの方向性】</li> <li>コストについては現状の範囲内で行っていく。</li> </ul>	教育部 生涯学習課
			現状維持	67	現状維持			教育部 生涯学習課
②-1	スポーツ活動支援事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村対抗子ども駅伝:当該駅伝大会の選考会である香芝マラソン大会では286人の子ども達が参加し、8人の子ども達が代表として選ばれた。大会自体は3/4実施。</li> <li>ニュースポーツデー:認知度が低く競技人口が少ないスポーツ競技を中心に専門の講師によるスポーツ体験イベントを開催した。定員数の倍である延べ360名が申込を行い、112名が参加した。</li> <li>子ども向け「スポーツ教室」:「ニュースポーツデー」を活用し、バレーボールチーム「Jマーズ」を講師としたバレーボール教室を開催した。市内小中学生65名が参加し、子ども達に技術指導や質問コーナー等を行うイベントとなった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ教室について、今回個人申込としたが申込者が想定より少なかった。(定員は超えていた)市内クラブチームや部活動にも周知をする等広報方法の検討とともに、他種目についてのスポーツ教室開催を検討する。</li> <li>現状、市民に向けて、熱中症対策や応急処置の方法を伝える講演会など、市民のスポーツに対する知識向上を図るイベントを行っていないため、イベントを行い地域スポーツ振興を図る。</li> </ul>	A	75	拡大	<p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の基本的な事業であり、休止は困難である。利用減少で見直しが必要な事業もあるが、未就学児や高齢者等の来館が困難な利用者層へは、各施設・団体を通じたサービス展開を行ってあり、拡充を求める声がある。電子図書館については、電子書籍をより充実させ、さらなる利用促進を図っていく。</li> <li>読書「バリアフリー」法に基づき、視覚等に障がいがある方の読書環境整備を進める必要があるため、コストの方向性で拡大とした。</li> <li>既に、カウンター業務やブックポスト回収等の業務を委託し、ICT等の導入による更なる効率化は可能である。しかし、莫大な経費が掛かるため、今後、経費を抑えた効率化が可能な調査研究を進める。</li> </ul>	教育部 市民図書館	
			B	69	拡大		教育部 市民図書館	
			現状維持	74	現状維持		教育部 市民図書館	
③-1	資料情報提供事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼保こども園・学童で巡回施設数が増加し、すみれ教室への配本も開始した。また、閑雑地区の集会所で出張図書館を試し、毎回100冊程度の貸出があった。</li> <li>様々な理由で図書館利用が困難な方の読書環境改善のため、絵本のセットを郵送する「おうちde絵本配達便」(試行)や国立国会図書館「視覚障害者専用データ送信サービス」の送信承認書等への登録を行った。</li> <li>施設・団体との連携や非来館による資料提供サービスの拡充について、状況の変化をふまえたサービスの内容や実施方法等の見直しが必要。</li> <li>障がいの有無や年齢を問わない、読書「バリアフリー」環境整備の周知。</li> </ul>	B	90	拡大	<p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用や読書の促進の動機づけを目的とした事業であり、長期休暇等の機会を捉えて、個別に楽しめるものや集会的イベント等を実施した。その結果、対前年度比で貸出冊数増加や利用人数減少の鈍化がみられる等、一定の効果があり、成果の方向性を現状維持とした。</li> <li>開館30周年記念事業は市民団体等の協力を得ることで、できるだけコストを抑えながら実施した。また、その他の事業でもボランティアとの連携協力等により、最低限のコストで実施していることから、現状より縮小することは困難であるため、現状維持とした。</li> <li>図書館で購入する電子書籍を市民が選べる「電子書籍購入候補投票」等の事業を実施して、市民の図書館事業への参加意識を高めることにより、電子図書館の普及を図るとともに、図書館利用の促進に努める。</li> </ul>	教育部 市民図書館	
			B	69	拡大		教育部 市民図書館	
			現状維持	74	現状維持		教育部 市民図書館	
③-2	読書普及活動事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開館30周年記念事業として市民の協力のもと「万葉衣装展」等の事業や、「とよかんスタンプラリー」の対象を一般向けにも拡大実施し、多くの参加があった。</li> <li>学校向けには、オンラインを活用した見学年学習時間を設け、図書館見学を実施する等、実地での学びを大切にしながら実施した。また幼稚園・こども園にも要望に応じて図書館見学の受入を行った。</li> <li>「だれでも気軽に読書」へのアプローチが可能なように、来館・非来館での利便性を向上する必要がある。</li> <li>オンラインでの事業実施には、著作物の著作権許諾に関する問題を明らかにする必要があり、手続きが煩雑、費用が必要等の問題がある。</li> </ul>	A	74	現状維持	<p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用や読書の促進の動機づけを目的とした事業であり、長期休暇等の機会を捉えて、個別に楽しめるものや集会的イベント等を実施した。その結果、対前年度比で貸出冊数増加や利用人数減少の鈍化がみられる等、一定の効果があり、成果の方向性を現状維持とした。</li> <li>開館30周年記念事業は市民団体等の協力を得ることで、できるだけコストを抑えながら実施した。また、その他の事業でもボランティアとの連携協力等により、最低限のコストで実施していることから、現状より縮小することは困難であるため、現状維持とした。</li> <li>図書館で購入する電子書籍を市民が選べる「電子書籍購入候補投票」等の事業を実施して、市民の図書館事業への参加意識を高めることにより、電子図書館の普及を図るとともに、図書館利用の促進に努める。</li> </ul>	教育部 市民図書館	
			A	85	現状維持		教育部 市民図書館	
			現状維持	82	現状維持		教育部 市民図書館	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性

今年度は、これまでとは違った視点でのイベントの開催や事業の実施、広報の実施を行った。その結果、ほぼすべてで、前年実績や定員をうわまわる申込があり、需要の多さがうかがえた。今年度の反省点を活かしながら、次年度の事業振視につなげたい。また県・国・その他補助金を活用しながら、歳入の確保にも努めていく。

・スポーツの振興については、年代(子ども、現役世代、高齢者向け)、目的(競技性、健康意識)に応じた事業の実施を検討。

・図書館においては、デジタル化を進め、利便性の向上を図るとともに、児童書読み放題パック等の導入による電子図書館の利用促進、サビ図書館等を活用した視覚障がい者等向けサービスの提供、継続した様々なイベントの実施による来館への動機づけを行い、来館者数の増加を目指す。

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 2 事業	拡大 3 事業	拡大 1 事業
B 2 事業	現状維持 1 事業	現状維持 2 事業
C 0 事業	縮小 1 事業	縮小 1 事業
	休止 1 事業	休止 1 事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開

**☆ 目指す姿**  
 気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。



■ 施策の主な取り組み

① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	博物館活性化事業	文化財等の調査研究を推進し、博物館の展示を充実させるとともに、イベント・講座・展示会等を開催します。また、小学校・中学校と連携した取り組みとして、地元について知る、郷土愛を育てる学習を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	719	800	850	900

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
6,400	7,000	4,128	7,905	112.9%	98.8%	教育部文化財課
636	700	675	1,070	152.9%	133.8%	教育部文化財課

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信し、活用及び啓発を行います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及、啓発活動を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45
史跡公園利用者数	人	尼寺廃寺跡学習館の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
44	45	43	43	95.6%	100.0%	教育部文化財課
1,369	1,500	621	1,566	104.4%	97.9%	教育部文化財課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	博物館活性化事業					【実績】企画展の開催やコロナ禍で取り止めていた特別展の開催によって展示会の入館者は4,804人(前年度3,335人)を集め、入館者の回復に繋がった。また、博学連携による利用者は、前年度から始めたオンラインと併せて1,070人(前年636人)であり、これまでの最高値となった。 【課題】館主催の講演会や市民の歴史講座等の開催数を減らした結果、教育普及事業の参加者は大幅に減少しており、展示会と講演会のバランスを考慮した事業展開を進める必要がある。	A	95 80 70
②-1	文化財保護啓発事業	【実績】文化財保護指導委員や課員による文化財の巡視活動を実施した結果、今年度も文化財の破損や盗難等の被害は無く、遺跡の無届による開発も皆無であった。 史跡公園に併設された尼寺廃寺跡学習館では昨年度を上回る利用者数があり、開園時の利用者数に回復しつつある。 【課題】市内の2つの史跡公園の活用については、旅行会社や奈良ソムリエの会と連携して、史跡公園をルートに含めた観光ツアーに着手するなどアフターコロナに向けた観光客の誘致を進めている。今後は如何にして受け入れ態勢の充実を図っていくかが大きな課題である。	B	95 85 70	現状維持 現状維持	【成果の方向性】文化財保護審議会を通じて市内所在文化財の保護・指定を図るとともに、史跡整備検討委員会の助言指導に基づき、狐井稲荷古墳や土山古墳の保存を図るため、国史跡への指定を目指す。史跡公園等については、学校教育との連携に加えて、観光会社等とも協力・連携してコロナ禍で減少していた観光客の誘致を促進するなど活用に向けた取り組みを継続して実施して行きたい。 【コストの方向性】現状の範囲で事業を検討する。	教育部文化財課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館DX化事業を進め、来館者の展示環境の充実を図り、利用者のサービス向上を推進する。</li> <li>狐井稲荷古墳や土山古墳の調査を進め、成果を博物館の展示会や講演等を通じて公開するとともに、市内外に本市の文化財の普及啓発を図る。</li> <li>市史編集事業に向けて、未知の文化財の調査を進めるとともに、市指定文化財に指定して保存を図る。</li> </ul>
---------	---

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	1 事業	拡充	1 事業	拡大	事業
B	1 事業	現状維持	1 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業